

# スーパー M・UNIT シリーズ

## 取扱説明書

NestBus 用  
リンクアダプタ

形式  
DAM4

### ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

梱包内容を確認して下さい

- ・リンクアダプタ ..... 1台

形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペックラベルで形式と仕様を確認して下さい。

取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

### ご注意事項

供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力

スペックラベルで定格電圧をご確認下さい。

交流電源：定格電圧 100 ~ 240 VAC の場合

AC 85 ~ 264 V、47 ~ 66 Hz、約 11 VA

直流電源：定格電圧 24 VDC の場合 DC 24 V ± 10 %、約 250 mA

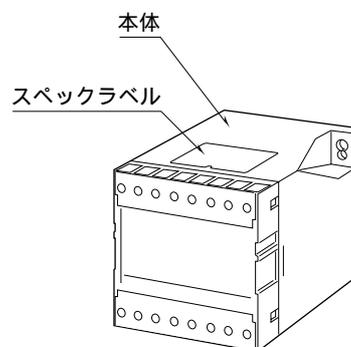
取扱いについて

本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

設置について

- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
  - ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
  - ・周囲温度が -5 ~ +55 を越えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を越えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。
  - ・配線などで本体の通風口を塞がぬようご注意ください。
- 配線について
- ・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
  - ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。
- その他
- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

### 各部の名称



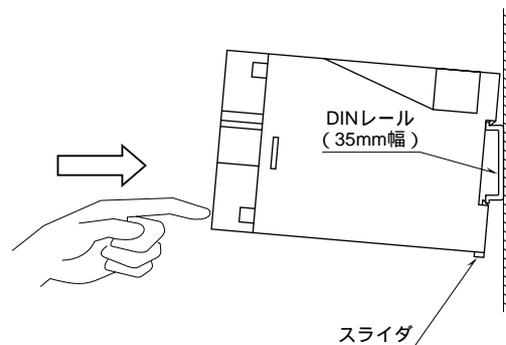
### 取付方法

DIN レール取付の場合

本体はスライダのある方を下にして下さい。

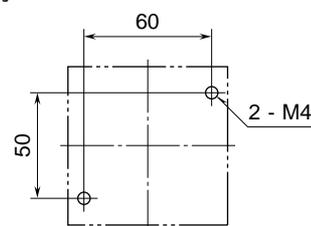
本体裏面のの上側フックを DIN レールに掛け下側を押しして下さい。

取外す場合はマイナスドライバーなどでスライダを下に押し下げその状態で下側から引いて下さい。

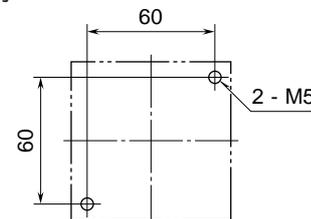


壁取付の場合 (単位 : mm)

M5 ねじ取付



M4 ねじ取付

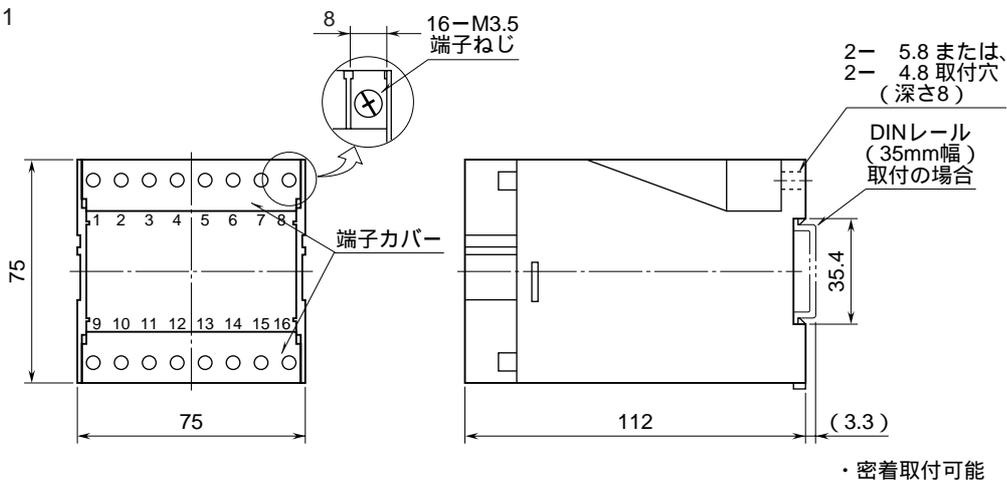


# 接 続

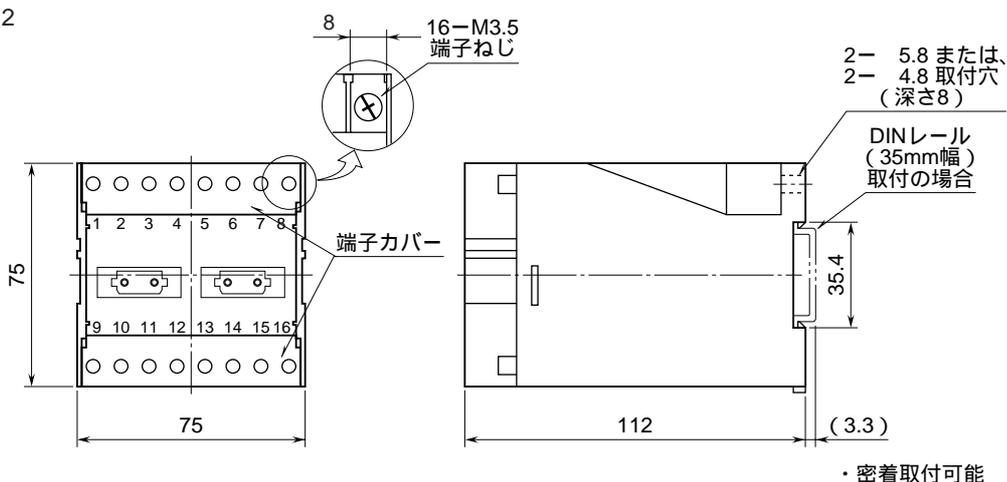
各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

## 外形寸法図 (単位 : mm)

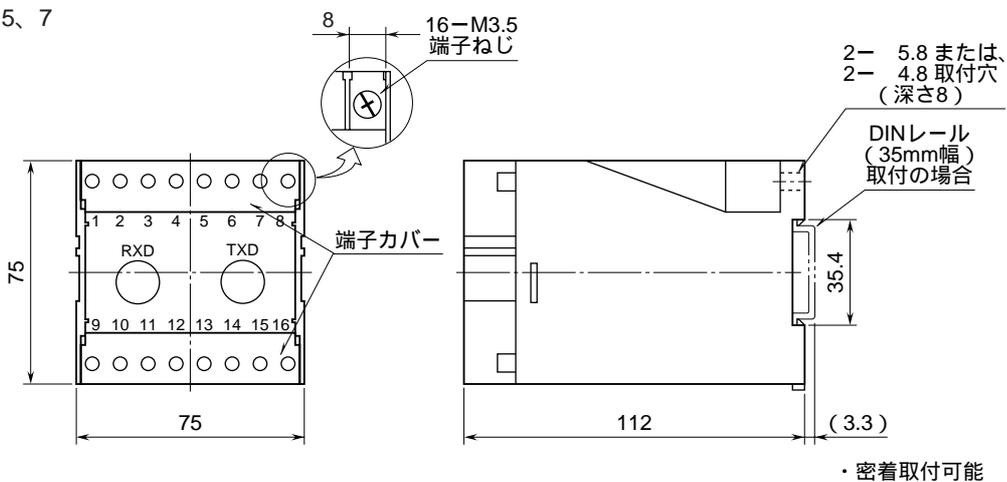
DAM4 - 1



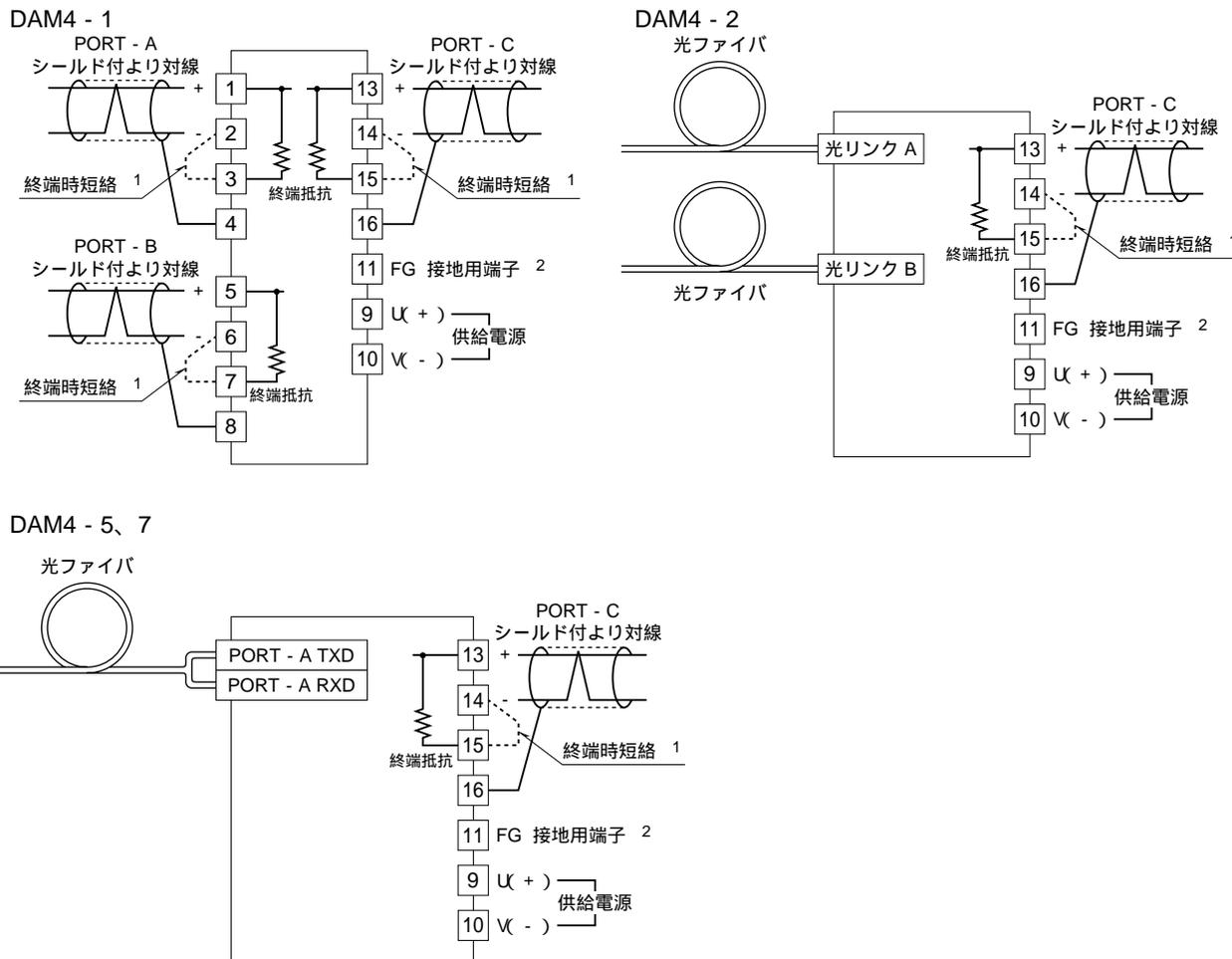
DAM4 - 2



DAM4 - 5、7



## 端子接続図



- 1、より対線の伝送ラインが終端の場合は短絡して下さい。  
伝送ラインの途中の場合は短絡しないで下さい。
- 2、FG端子を接地することにより、電源、伝送ラインの耐ノイズ性が向上します。ノイズの多い環境では接地することをお奨めします。

## 点検

端子接続図に従って結線がされていますか。

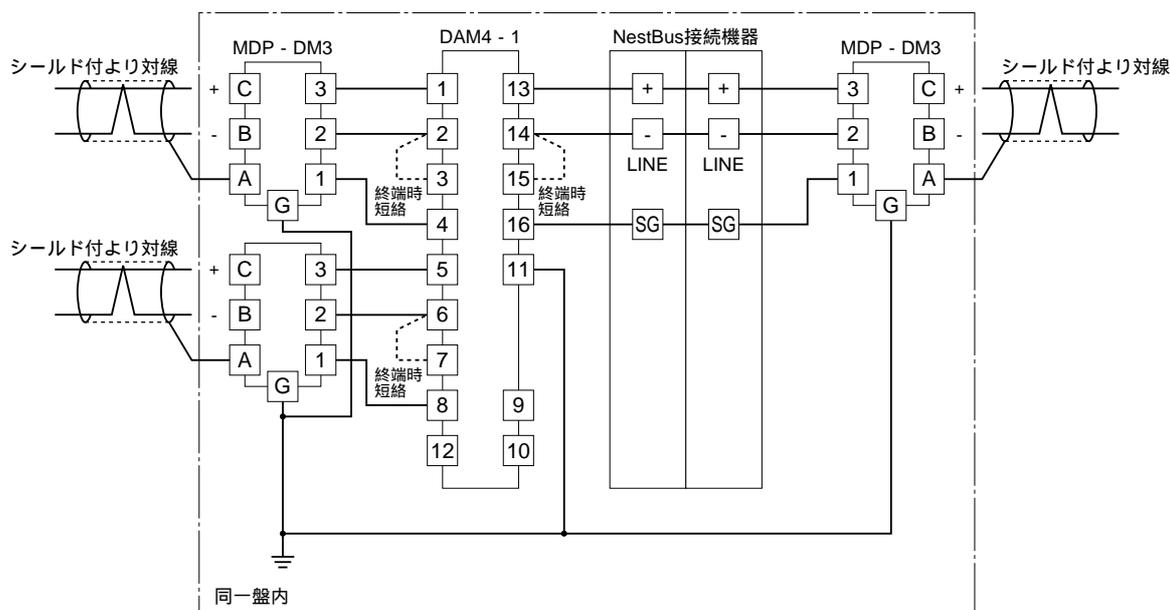
供給電源の電圧は正常ですか。

端子番号 - 間をテストの電圧レンジで測定して下さい。

より対線の接続はCPEV-0.9 以上で+ どうし、および  
- どうしを接続して下さい。

より対線のポートを終端で使用する場合と同ポートを未使用の場合、終端抵抗端子(2 - 3、6 - 7、14 - 15)をショートして下さい。

## 雷対策



- DAM4 の伝送ライン（より対線）には必ず避雷器（形式：MDP - DM3）を設置して下さい。
- MDP - DM3 の 端子を DAM4 の SG 端子へ必ず接続して下さい。
- 同一盤内で DAM4 の伝送ラインに NestBus 接続機器があるときは、MDP - DM3 と DAM4 の間に設置して下さい。このときも MDP - DM3 の 端子を DAM4 の SG 端子へ接続して下さい。
- DAM4、NestBus 接続機器の電源ラインにも電源用避雷器を設置して下さい。

## 保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。